

イアマス
IAMAS 出前教室 vol.21

老いの愉楽 第4回

老いを識る

老いを単なる生理的現象や社会現象として捉えずにもっと哲学的なまなざしを注いでみたいと思います。なぜ「老賢者」という表現が好まれるのか、けれどもなぜ若いときに「老成」と云われると否定的に思われるのか。あるいは老いと死とはなぜ連続的に捉えられてしまうのか。老いと疲労とは近いものなのではないか。哲学とは世界をいかにして言語化するかという試みのひとつです。老いは老いることによるのみ体得できるという常識を乗り越えて、老いの言語化の可能性について考察します。

日時 2010年3月19日(金)
18:30~20:00

場所 大垣市多目的交流イベントハウス
(大垣市郭町2丁目28番地)

定員 30名程度 参加無料/予約不要

対象 一般、学生の方

主催 情報科学芸術大学院大学
メディア文化センター(CMC)
TEL 0584-75-6606
URL www.iamas.ac.jp

講師プロフィール

小林 昌廣 (こばやしまさひろ)

情報科学芸術大学院大学スタジオ4教授。芸術生理学者。医学・芸術・哲学を頂点とする三角形の中心に「身体」を措定して、さまざまな身体表現の研究・批評、医療福祉分野における芸術表現行為の応用、さらに舞台芸術のプロデュース等を行う。主な著書に『病い論の現在形』『「医の知」の対話』『臨床する芸術学』等。

「老いの愉楽」シリーズ

2009	11/06(終了)	第1回	老人文学を読む
	12/04(終了)	第2回	老人映画を観る
2010	1/15(終了)	番外編	イアマスおおがき落語その2
	2/19(終了)	第3回	芸能のなかの老い
	3/19	第4回	老いを識る



IAMAS(イアマス)とは、大垣市領家町にある情報科学芸術大学院大学と岐阜県立国際情報科学芸術アカデミーの総称です。出前教室は、毎月1回大垣のまちに出て、市民のみなさんに向けて行うレクチャーや公開ゼミのことです。